第2回都道府県医師会特定健診・特定保健指導連絡協議会

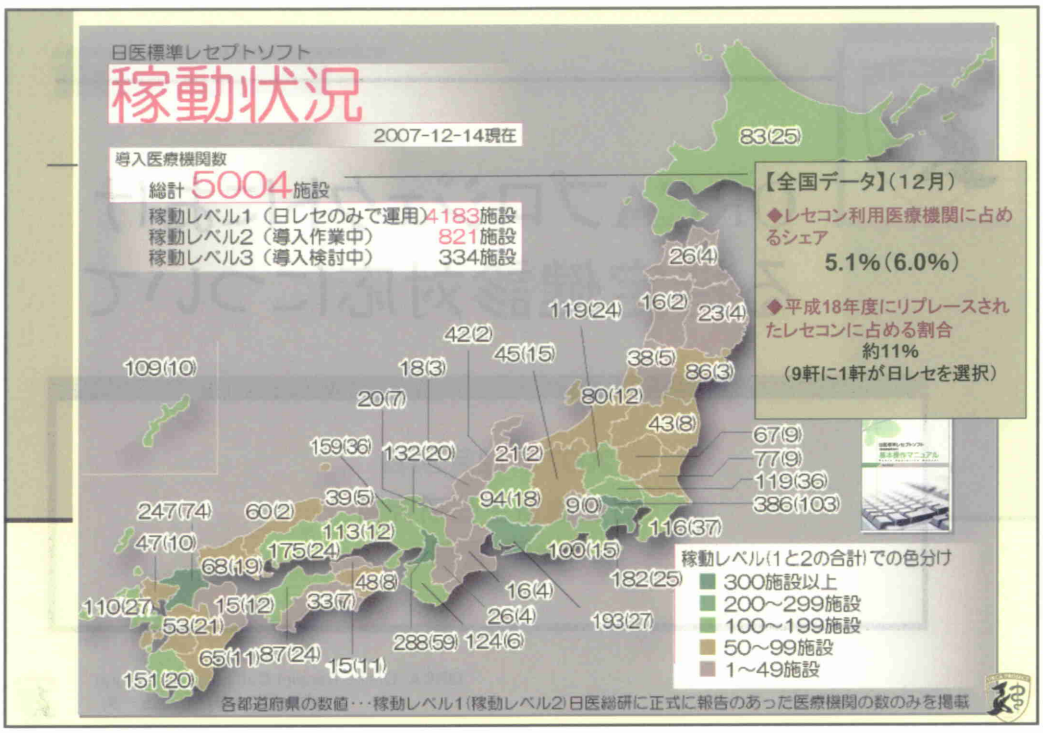
ORCAプロジェクトにおける特定健診対応について

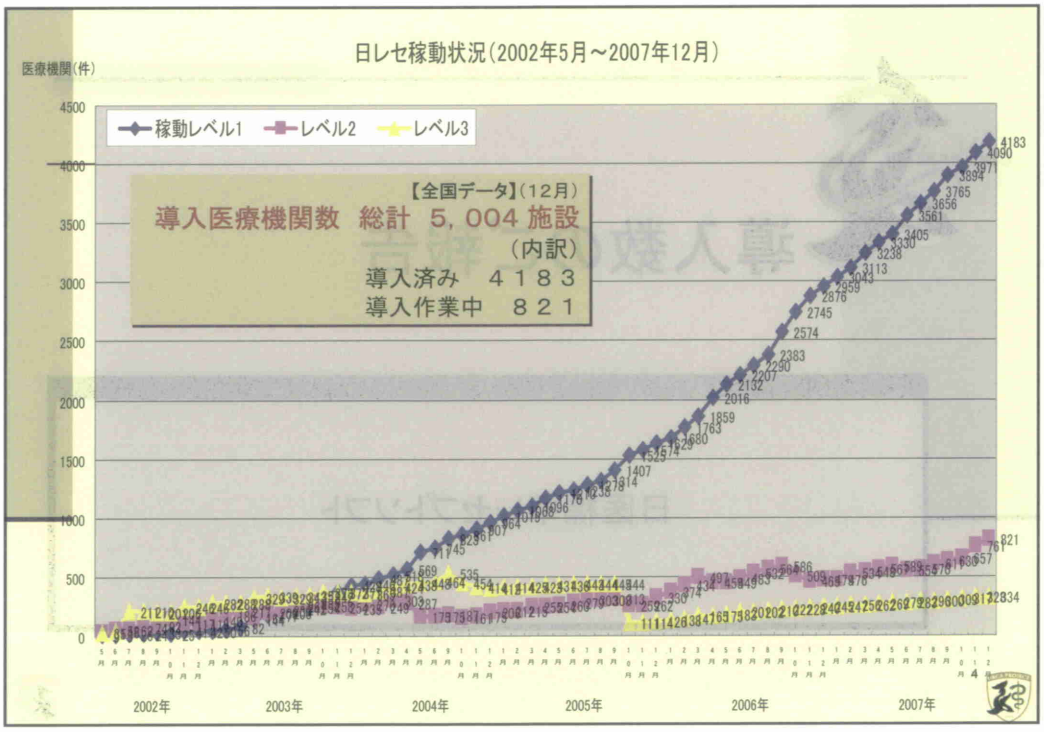
2007年12月24日
日医総研主任研究員
上野 智明

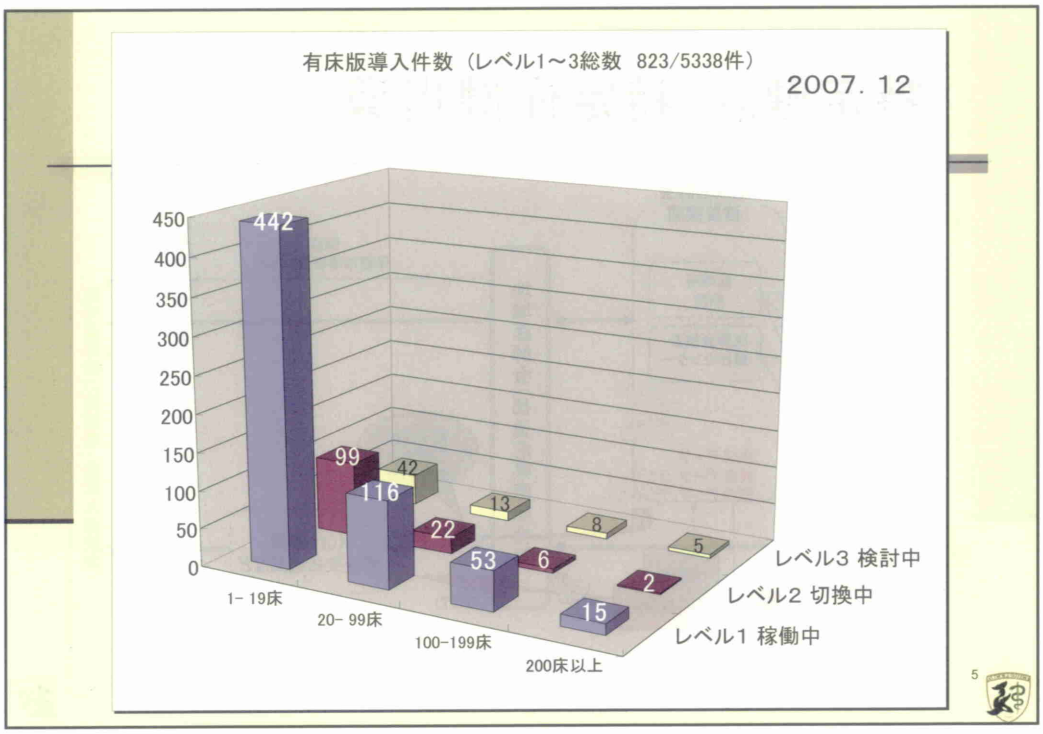
ORCA: Online Receipt Computer Advantage
（進化型レセプトコンピュータ）

導入数のご報告

日医標準レセプトソフト


日医標準レセプトソフト
稼動状況
2007-12-14現在
導入医療機関数
総計 5004施設
稼動レベル1（日レセのみで運用）4183施設
稼動レベル2（導入作業中） 821施設
稼動レベル3（導入検討中） 334施設
【全国データ】（12月）
◆レセコン利用医療機関に占めるシェア
5.1%（6.0%）
◆平成18年度にリプレースされたレセコンに占める割合
約11%
（9軒に1軒が日レセを選択）
83(25)
26(4)
16(2)
23(4)
119(24)
42(2)
45(15)
38(5)
86(3)
109(10)
18(3)
20(7)
80(12)
43(8)
67(9)
77(9)
119(36)
386(103)
159(36)
132(20)
21(2)
39(5)
94(18)
9(0)
247(74)
60(2)
116(37)
113(12)
47(10)
175(24)
100(15)
68(19)
48(8)
182(25)
16(4)
110(27)
15(12)
33(7)
26(4)
193(27)
53(21)
288(59)
124(6)
65(11)
87(24)
15(11)
151(20)
稼動レベル(1と2の合計)での色分け
300施設以上
200～299施設
100～199施設
50～99施設
1～49施設
各都道府県の数値・・・稼動レベル1(稼動レベル2)日医総研に正式に報告のあった医療機関の数のみを掲載

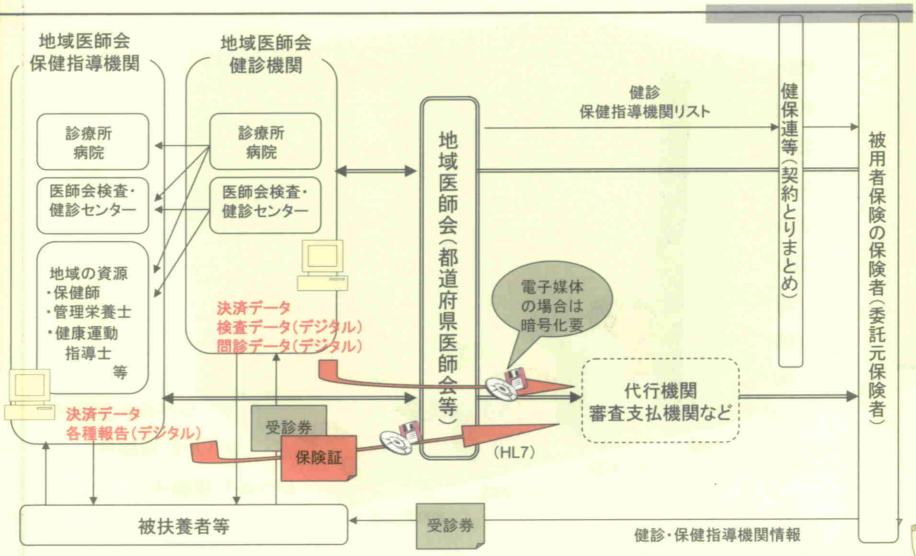

日レセ稼動状況（2002年5月～2007年12月）
医療機関(件)
稼動レベル1
レベル2
レベル3
【全国データ】(12月)
導入医療機関数 総計 5,004 施設
(内訳)
導入済み 4183
導入作業中 821
4500
4000
3500
3000
2500
2000
1500
1000
500
0
2002年
2003年
2004年
2005年
2006年
2007年



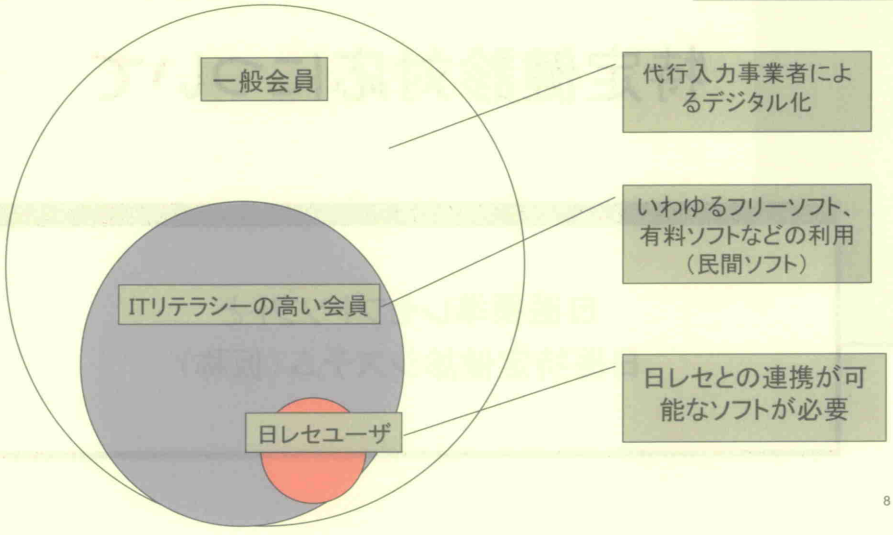
特定健診対応について

日医標準レセプトソフトと
日医特定健診システム（仮称）

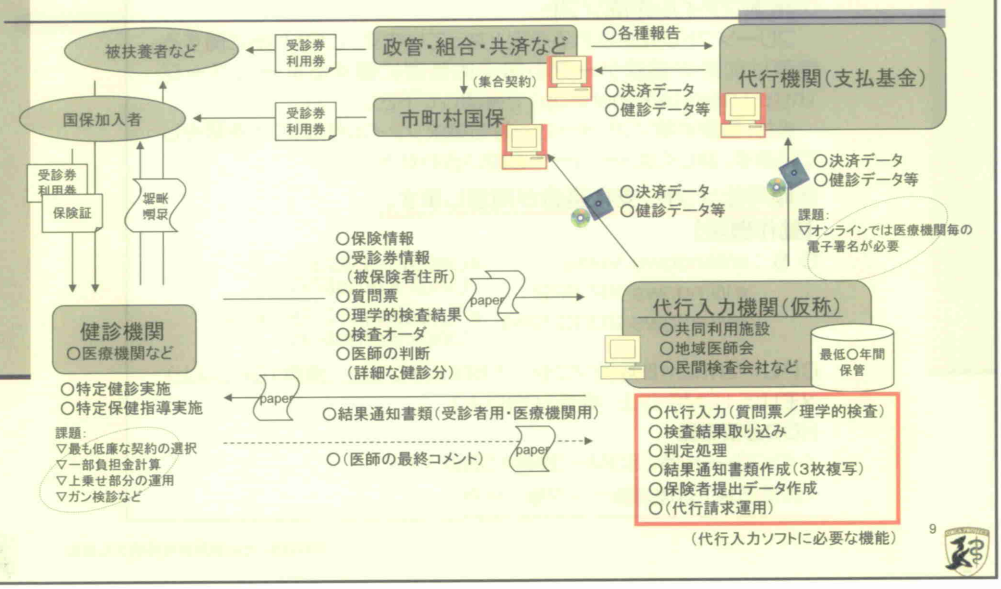
特定健診・特定保健指導



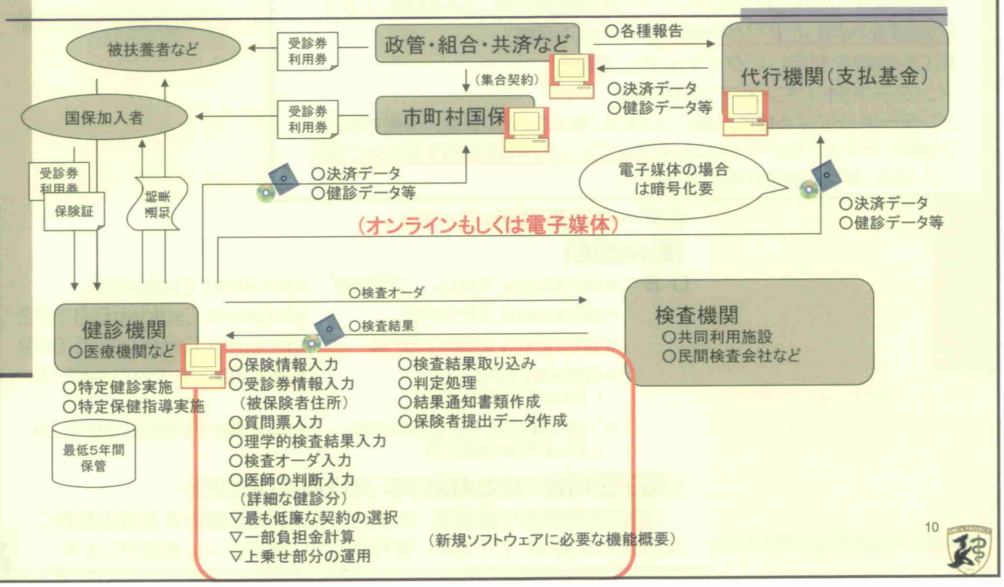
特定健診のデジタル対応



「健診機関（手書き）＋代行入力」の例



健診機関（IT化）の概要



■電子媒体による請求の場合

①請求ファイル作成ソフト

フリーソフトが提供される予定となっています。このソフトに関する情報は前述の健診データの電子的管理に関するホームページ（http://tokuteikenshin.jp）で確認して下さい。

また、医療事務ソフトメーカー等も請求ファイル作成ソフトを販売しています。詳しくはメーカーへお問い合わせ下さい。

②暗号化ソフト：支払基金が用意します。

【動作環境】

ＯＳ：
- ■Windows Vista
- ■Windows XP SP2
- ■Windows 2000 SP4
- ■Debian GNU3.1 Linux Kernel2.6
- ■Turbolinux10 Desktop Linux Kernel2.6

CPU:Pentium Ⅲ互換プロセッサ 600MHz 以上（推奨1GHz以上）

メモリ:512MB 以上（推奨1GB以上）

HDD必要容量

〈インストール時〉50MB（推奨1GB以上）

〈作業領域〉処理対象データ量に依存

（資料提供）社会保険診療報酬支払基金

11

■オンラインによる請求の場合

①請求ファイル作成ソフト：電子媒体による請求と同じです。

②ネットワーク回線接続の申し込み

通信事業者へ次のいずれかのネットワーク回線接続の申し込みをお願いします。

- 閉域網を利用したIP-VPN接続（アクセス回線）
- ISDN回線を利用したダイヤルアップ接続
- インターネット（オンデマンドVPN）

（インターネットによる接続方法については、請求ファイルが個人情報であることに鑑み、セキュアネットワークとしてオンデマンドVPNを採用する方向で検討しています。詳細は別途お知らせします。）

③データ送受信用パソコン

【動作環境】

ＯＳ：
- ■Windows Vista
- ■Windows XP SP2
- ■Windows 2000 SP4
- ■Debian GNU3.1 Linux Kernel2.6
- ■Turbolinux10 Desktop Linux Kernel2.6

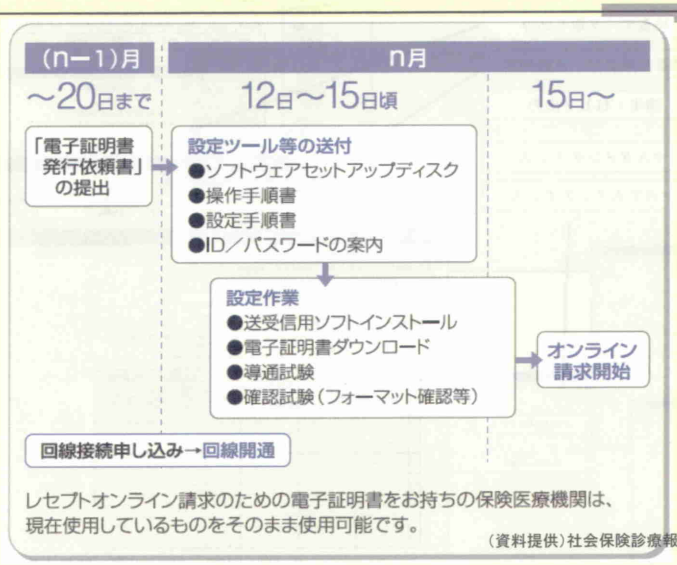
ブラウザ：
- ■Internet Explorer7
- ■Internet Explorer6.0 SP2
- ■Internet Explorer5.5 SP2
- ■Mozilla Firefox（Ver2.0）
- ■Mozilla Firefox（Ver2.0）

④電子証明書（有効期限3年 発行料4,000円）

「電子証明書発行依頼書」をオンライン請求を開始する月の前月の20日までに提出して下さい。翌月の上旬に設定ツールを送付します。

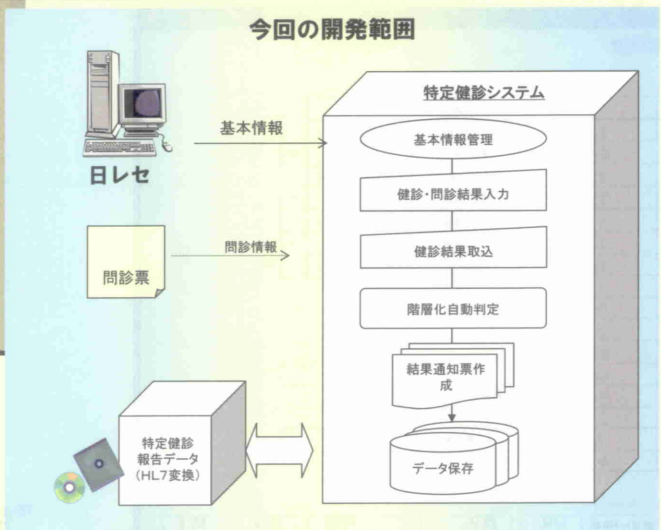
（資料提供）社会保険診療報酬支払基金

オンライン請求までの流れ



（資料提供）社会保険診療報酬支払基金

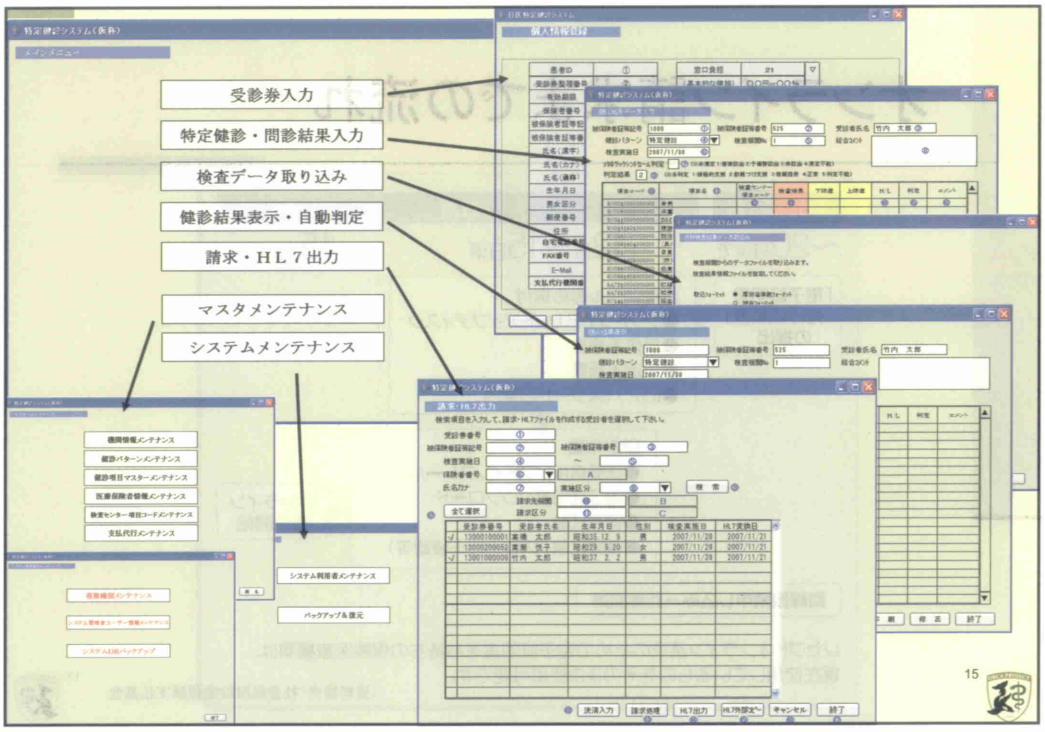
ORCAプロジェクトでの対応（2月末目標）



（特定保健指導については状況を見ながら今後の対応を検討）

【主な機能（予定）】

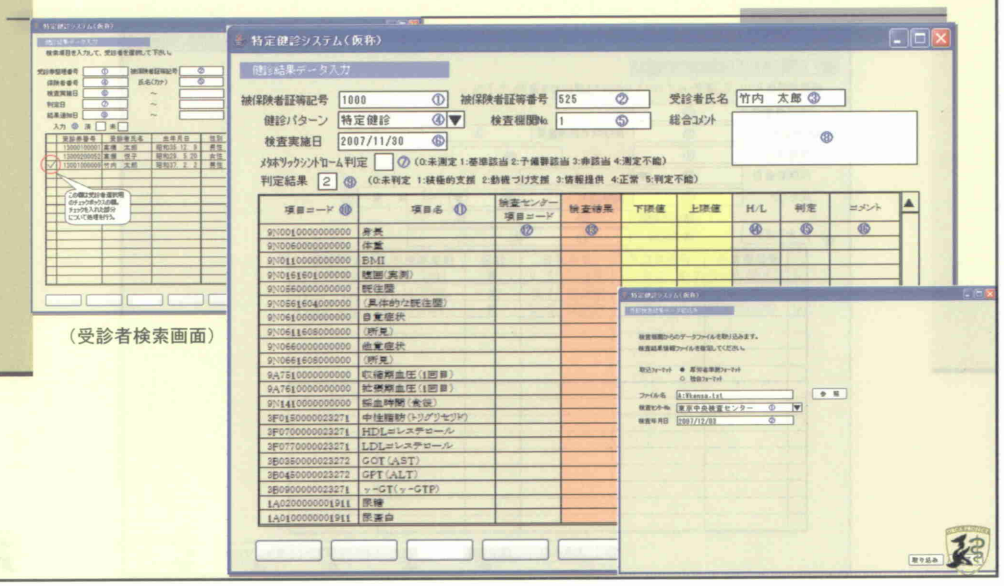
医療機関情報登録・修正
追加健診データ入力
問診情報入力
メタボ基準値登録
任意追加項目基準値登録
QRコード対応
階層化自動判定
ログイン管理
複数医療機関対応
記入シート印刷
HL7変換＆出力
検診結果通知票表示・印刷
日医標準レセプトソフト連動
Debian Sarge or etch／Linux、MS-Windows 対応
DBバックアップ
オープンソース（一部モジュールを除く）


受診券入力
特定健診・問診結果入力
検査データ取り込み
健診結果表示・自動判定
請求・ＨＬ７出力
マスタメンテナンス
システムメンテナンス
15

受診券情報の登録

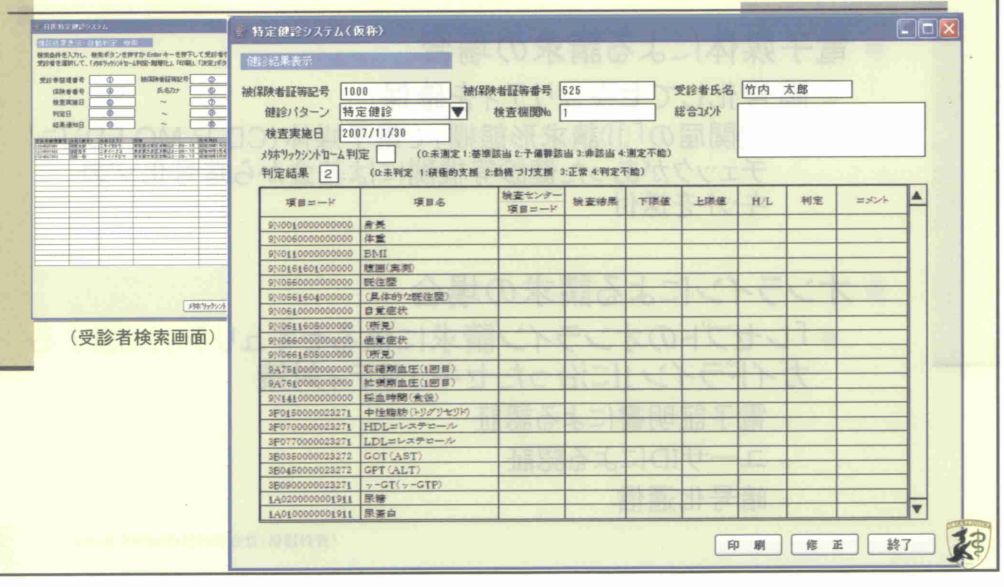
日医特定健診システム
個人情報登録
患者ID
受診券整理番号
有効期限
保険者番号
被保険者証等記号
被保険者証等番号
氏名（漢字）
氏名（カナ）
氏名（通称）
生年月日
男女区分
郵便番号
住所
自宅電話番号
携帯電話番号
FAX番号
E-Mail
携帯Mail
支払代行機関番号
窓口負担 21
（基本的な健診） ○○円or○○％
窓口負担 22
（詳細な健診） ○○円or○○％
窓口負担 23
（追加健診） ○○円or○○％
窓口負担 24
（人間ドック） ○○円or○○％
QR
読込
クリア
呼出
登録
終了
16

検診結果データ入力と取り込み



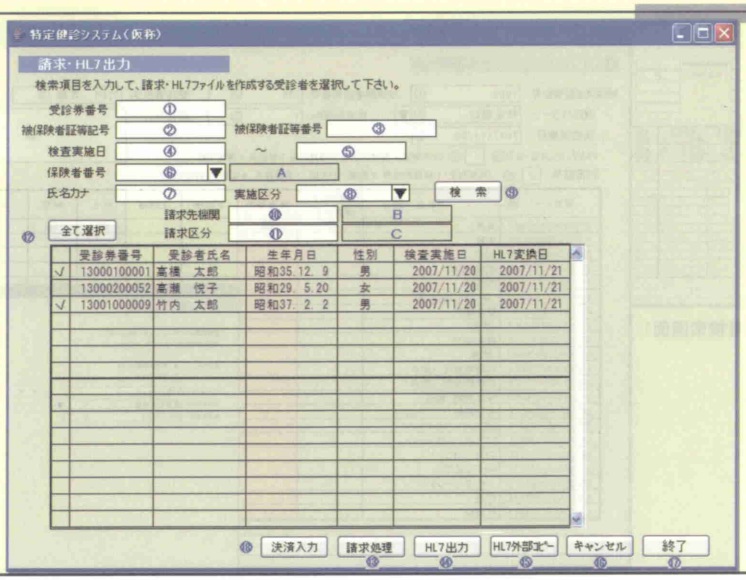
(受診者検索画面)

自動判定と結果表示



(受診者検索画面)

請求・HL7出力



19

セキュリティ対策について

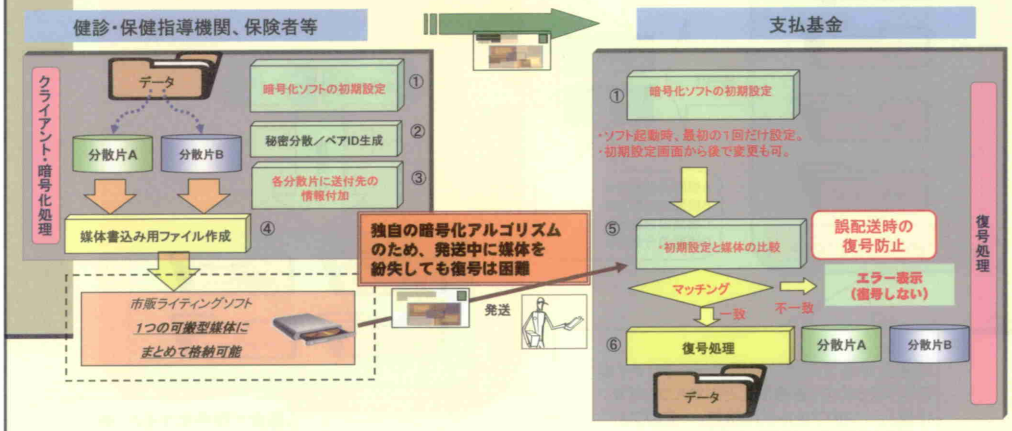
- 電子媒体による請求の場合
  - 暗号化してセキュリティを確保
    - 機関届の「⑪請求形態欄」で電子媒体(CD-R,MO,FD)にチェックがあった健診等機関には基金から暗号化ソフトキットを送付
- オンラインによる請求の場合
  - 「レセプトのオンライン請求に係るセキュリティに関するガイドライン」に沿ったセキュリティ対策
    - 電子証明書による認証
    - ユーザIDによる認証
    - 暗号化通信

(資料提供)社会保険診療報酬支払基金

20

可搬型媒体の暗号化 （運用イメージ）

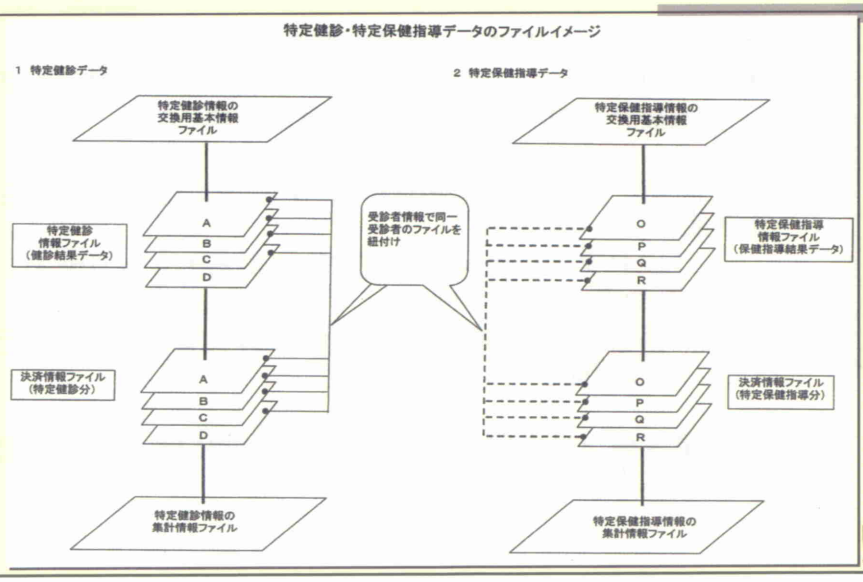
例 ■ 健診・保健指導機関、保険者等が「暗号化」を行い 支払基金にてデータ復号化するケース
（返戻処理の場合は、逆に支払基金が「暗号化」を行い、健診・保健指導機関が復号化）

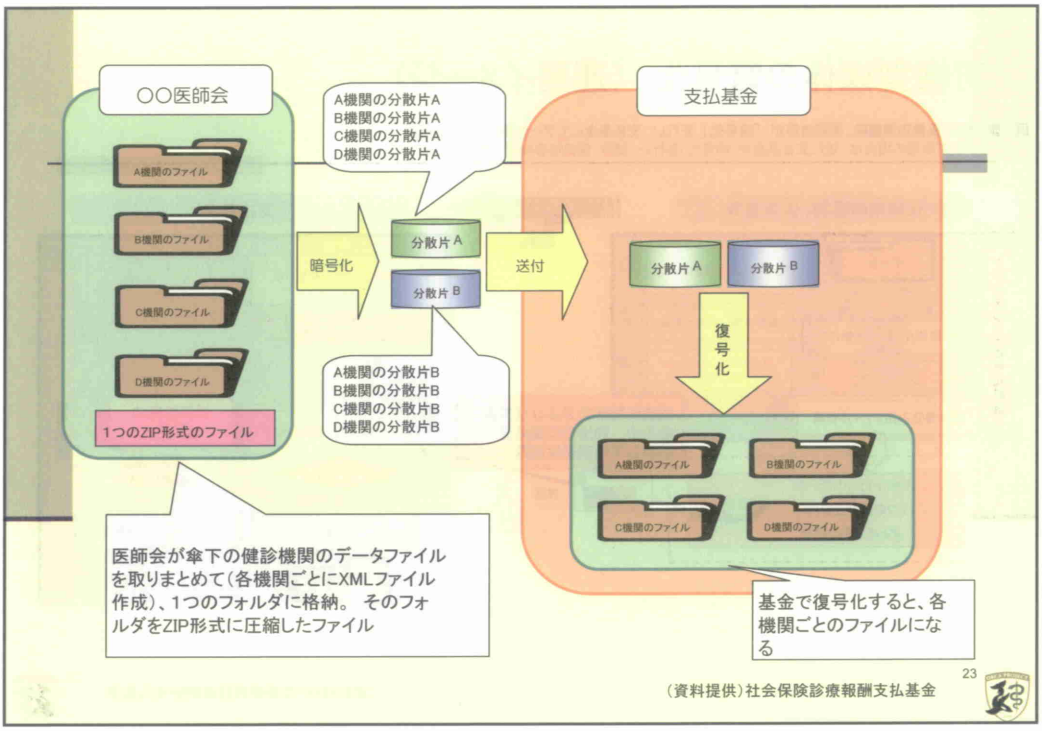


（資料提供）社会保険診療報酬支払基金

21

特定健診・特定保健指導データのファイルイメージ





セキュリティガイドラインについて

- 現行ガイドラインではオンライン請求専用のPCが必要
- 現行ガイドラインではISDN並びにNTTフレッツ（閉域網）のみ
  - 医療機関がフレッツに加入していれば請求できる
- 上記問題については下記のガイドライン2点の整合が図られる予定
  - 「レセプトのオンライン請求に係るセキュリティに関するガイドライン」
  - 「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン 第2版」
- NTT閉域網以外を利用している医療機関には、状況が確定するまでしばらくお待ちいただく（2月頃）

24